

令和2年度 高冷地水稻生育速報(第2報)

岐阜県中山間農業研究所

1. 生育概況(6月15日調査)

調査日	年度	草丈 (cm)		茎数 (本/m ²)		葉色				葉齢	
						葉色板		SPAD値			
たかやまもち	本年	38.9	(124%)	535	(149%)	4.3	(+0.3)	41.5	(+5.9)	8.3	(+0.9)
	前年	31.1		384		3.8		34.4		7.0	
	平年	31.4		358		4.0		35.6		7.4	
あきたこまち	本年	35.9	(126%)	405	(113%)	4.8	(-)	43.4	(+4.9)	8.3	(+0.9)
	前年	27.3		371		3.9		35.8		7.0	
	平年	28.5		358		—		38.5		7.4	
ひだほまれ	本年	39.6	(125%)	535	(145%)	4.3	(+0.5)	40.3	(+4.5)	8.6	(+0.8)
	前年	31.4		346		3.6		35.0		7.2	
	平年	31.8		369		3.8		35.8		7.8	
ひとめぼれ	本年	37.3	(134%)	597	(137%)	4.8	(+0.5)	43.3	(+4.8)	8.2	(+0.8)
	前年	26.3		531		4.2		37.7		7.4	
	平年	27.9		436		4.3		38.5		7.4	
コシヒカリ	本年	40.6	(125%)	639	(154%)	4.8	(+0.5)	42.7	(+3.8)	8.1	(+0.7)
	前年	34.4		453		4.1		37.5		7.1	
	平年	32.4		416		4.3		38.9		7.4	

栽培条件：移植5月15日 栽植密度22.2株/m² 1株4本稚苗移植 基肥N=0.5kg/a
栽植密度は、平成27年度は21.2株/m²、H28～31年度は 22.2株/m²

平年値：過去5年間(H27年～H31年)の平均値
()内の数値は対平年値

2. 気象状況と当面の管理

1) 気象概況

移植後の気温は平年より高く推移しており、平均最高気温、平均最低気温ともに高く推移した。日照時間は平年より多かった。

2) 生育概況

生育は草丈は平年より高く、茎数は平年より多く、葉色値も平年より高い。葉齢も進んでいる。気象の影響により生育が進んでいる。

3) 病害虫等の発生状況

イネミズゾウムシの発生が確認された。圃場によっては被害が大きかったため、防除を行った。

4) 今後の管理

「中干し」は生育促進、土壌中のガス抜き及び藻類対策として効果がある。6月末までに必ず実施するようにする(目安 コシヒカリ:20本/株で実施)。中干し後は間断灌水を行う。また、健全な生育のため、7月上旬までにケイ酸カリを施用する。

生育が進んでいるため、今後の施肥管理に注意する。特に穂肥はそれ以降の生育に大きな影響があるため、生育を注視しながら、穂肥時期、穂肥量を検討していく。

令和2年(2020年)の気象図(高山市)

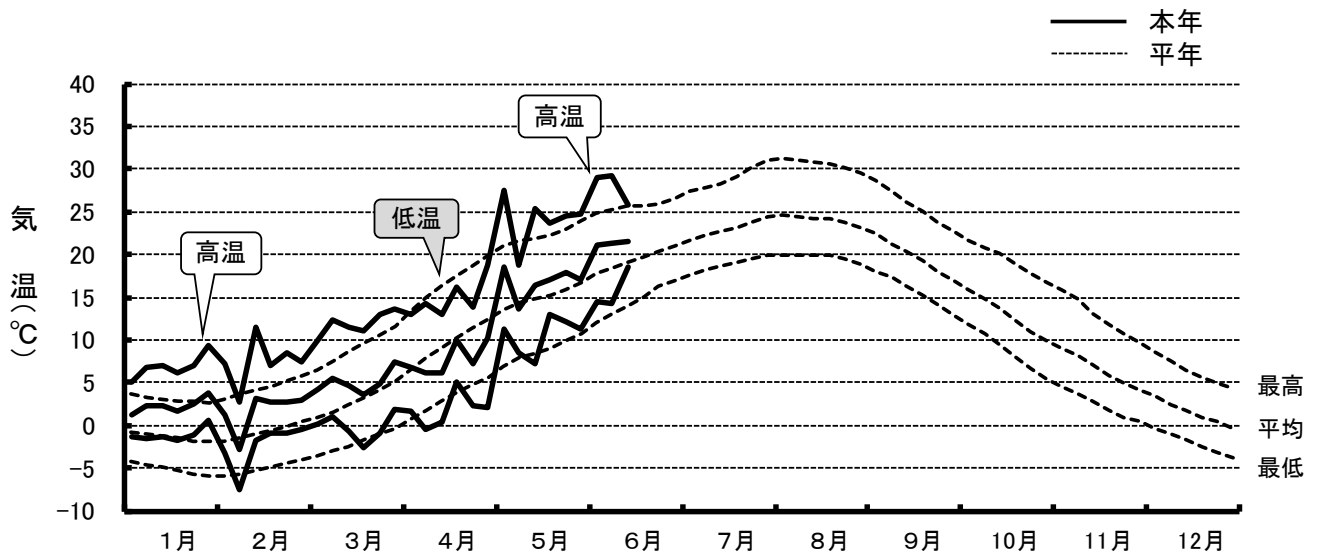


図1 本年度の半旬別気温の推移(高山市)

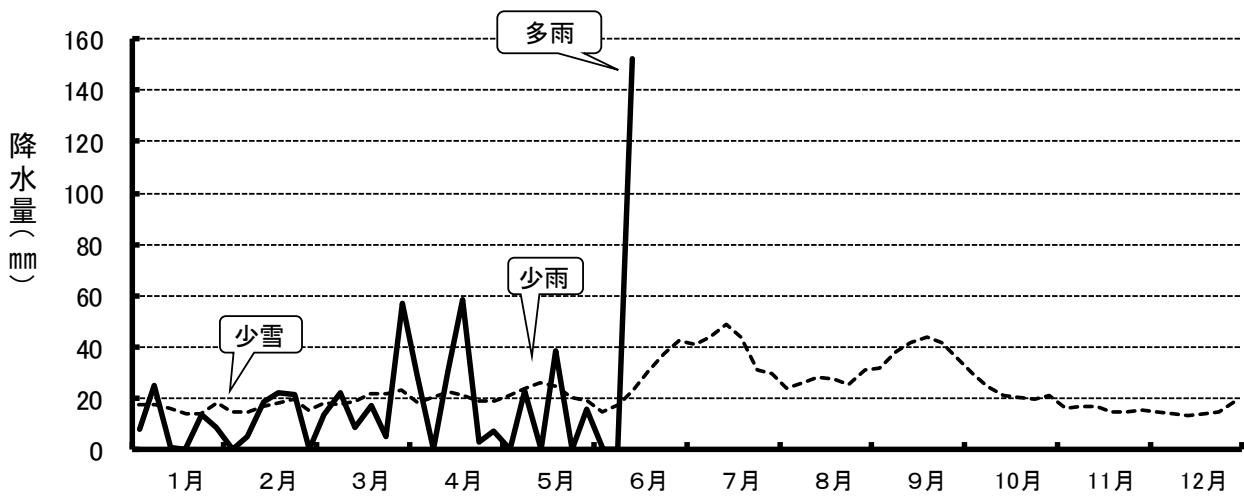


図2 本年度の半旬別降水量の推移(高山市)

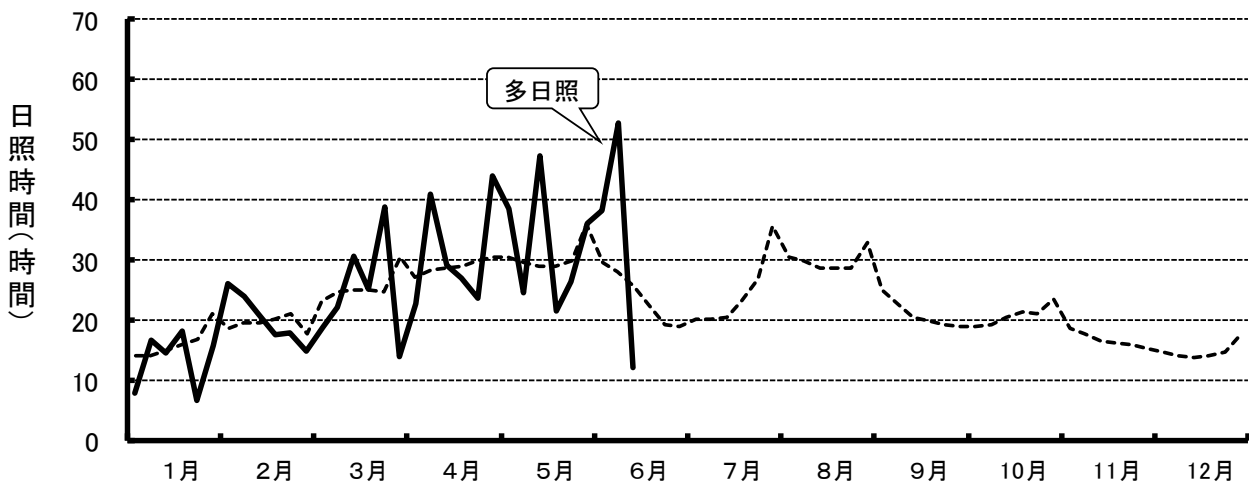


図3 本年度の半旬別日照時間の推移(高山市)